

公開シンポジウム・パネルディスカッション 思春期の自己制御研究への期待

シンポジスト

伊佐正先生（自然科学研究機構 生理学研究所）

坂井克之先生（東京大学 大学院医学系研究科）

安藤寿康先生（慶応義塾大学 文学部）

山岸俊男先生（玉川大学 脳科学研究所）

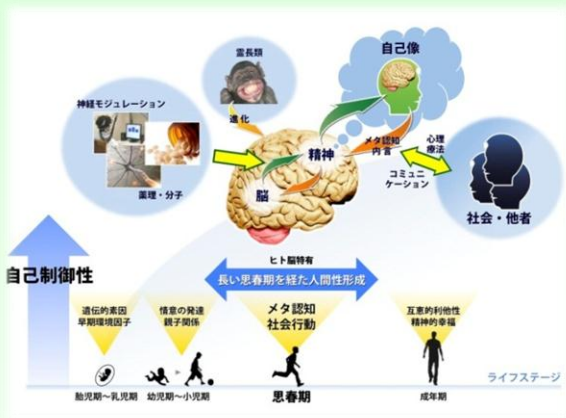
神経科学からのアプローチ

認知科学からのアプローチ

行動遺伝学からのアプローチ

社会心理学からのアプローチ

本シンポジウムでは、関連する学際的な研究分野を代表する4名のシンポジストをお招きして、それぞれの専門領域から見た「精神機能の自己制御」についてディスカッションし、総合的な人間理解にもとづく自己制御理解を創発する機会に出来ればと考えております。是非多様な領域の研究者・専門家の方々、そして広く一般市民・学生の方々にも御参加いただければ幸いです。



思春期 (puberty / adolescent) は、進化の歴史の中で、他の動物と比べ非常に長くなり、人間に特有のライフステージとなっています。人間はこの「長い思春期」に、社会との交流を通じて、自我機能を育み、自己を制御・発展させ、成長していきます。思春期は、人間にとって極めて重要なライフステージなのです。

思春期には、人間の大脳皮質の中で、最終段階として前頭前野が成熟してきます。前頭前野は、人間の進化過程の中で高度に発達した部位であり、自己自身の精神機能・脳機能を自己制御する機能を司ると想定されています。

言語学 神経経済学 進化心理学 疫学 教育学
認知科学 神経科学 精神医学 臨床心理学

本領域では、以下の3つの軸を中心に、分子から社会までの統合的・学際的アプローチによって、人間の精神機能の自己制御理解を目指し、多領域の研究者の協力の下、活動を進めています。

- ① 思春期における自己制御機能の発達過程を集団レベルで解明する (A01)
- ② 人間における自己制御機能の神経基盤を明らかにする (A02)
- ③ 精神疾患を自己制御機能の不調と捉え、修復・回復支援法を開発する (A03)

Key word：思春期，自己制御，前頭前野，社会関係，発達



司会：笠井清登（東京大学 大学院医学系研究科：領域代表）

日時：平成24年5月27日（日）14時～17時

場所：東京大学医学部教育研究棟13階
第6セミナー室

計画研究代表：

A01：長谷川真理子
（総合研究大学院大学・進化心理学）

A02：藤井直敬
（理化学研究所・認知科学）

A03：笠井清登
（東京大学・精神医学）

※申込は特にありません。当日会場まで直接お越しください。

※参加費は無料です。

シンポジスト紹介



伊佐正 先生

自然科学研究機構 生理学研究所 発達生理学研究室 教授

東京大学医学部医学科卒業後、スウェーデン・イエテボリ大学生理学教室客員研究員、東京大学医学系研究科、東京大学医学部脳研究施設脳生理学部門助手、群馬大学医学部生理学第二講座講師、同助教授を経て、1996年より現職。文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」の「独創性の高いモデル動物の開発」の実施拠点機関・代表研究者に選ばれる。専門は脳神経科学。



坂井克之 先生

東京大学 大学院医学系研究科 認知・言語神経科学分野 教授

東京大学医学部医学科卒業後、同大学医学部附属病院勤務、東京大学大学院医学系研究科大学院博士課程、ロンドン大学神経学研究所リサーチフェローを経て、現在、東京大学大学院医学系研究科准教授。専門は認知神経科学、医学博士。著書に、「心の脳科学」（中公新書）、「脳科学の真実」（河出ブックス）など。



安藤寿康 先生

慶応義塾大学 文学部 人文社会学科 人間関係 教授

慶応義塾大学文学部卒業後、慶応義塾大学社会学研究科修士課程、同大学博士課程、慶応義塾大学文学部助手、同学部専任講師、助教授を経て、2001年より現職。2004年より、「首都圏ふたごプロジェクト」立ち上げる。専門は行動遺伝学、教育心理学。著書に「心はどのように遺伝するか」（ブルーバックス）など。



山岸俊男 先生

玉川大学 脳科学研究所 教授

一橋大学社会学部卒業後、同研究科修士課程、University of Washington (Ph.D. in Sociology)、University of Washington社会学部助教授、北海道大学文学部助教授、北海道大学大学院文学研究科教授。2012年より、現職。専門は社会心理学。著書に「信頼の構造」（東京大学出版会）、「安心社会から信頼社会へ」（中公新書）など。

会場案内

東京大学医学部教育研究棟

(13階 第6セミナー室)

東京メトロ丸の内線	本郷三丁目駅	2番出口	徒歩約5分
都営地下鉄大江戸線	本郷三丁目駅	5番出口	徒歩約5分
東京メトロ南北線	東大前駅	1番出口	徒歩約10分



Adolescent Mind & Self-Regulation

精神機能の自己調節理解にもとづく思春期の人間形成支援学

領域ウェブサイト：<http://npsy.umin.jp/amr/index.html>

地下鉄 本郷三丁目駅
●：東京メトロ丸の内線
●：都営地下鉄大江戸線